

読者の皆様へ

この度、弊社は、二〇二〇年（平成三二年）をもちまして、会社を解散することを決定いたしました。新刊書籍は、二〇一七年（平成二九年）三月まで刊行し、それ以降、二〇二〇年までは書籍の販売のみを継続いたします。また、本誌『季刊 創文』は、この第二三号（秋号）をもって、終刊といたします。

弊社は、一九五一年（昭和二六年）十一月三日に産声を上げ、爾来七〇年弱、創業者久保井理津男の「良書は一人歩きする」という強い信念のもと、人文社会科学の専門書出版社として「出版の王道」を歩んでまいりました。しかし時代は変わり、日本経済の長引く停滞、および大学予算の縮小化に伴う大学図書館への販売の低迷、さらには学術論文・博士論文の電子化・オンライン化という事態にさらされ、紙媒体専門の学術書専門出版社の経営は、大きな打撃を被ることとなりました。日本文化の一翼を担う出版社の経営は、一般企業の経営とは明らかに異なる「こころざし」をもって当たらねばなりません。しかし、それだからと言って社会の成員としての責任を免れるものではないと思いません。

これまで、創文社の出版活動をご支持下さってきた、著者の先生方、および取引業者の方々に、経済的なご迷惑をおかけしないために、この度の決断と相成りました。

読者の皆様には、心よりお詫び申し上げますとともに、これまでのご支持・ご愛読に、深く感謝いたします。事情、ご賢察の上に、何卒ご理解を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

二〇一六年九月

創文社代表取締役

久保井浩俊

久保井正顕